



10月19日 寺 雅彦さん（湯地）

主な内容

- 大豆施設稼働
- 由仁町文化祭
- 北大生インターンシップ
- 青年部農産物PR
- 青年部屑米集荷
- 営農指導課のページ
- 部署紹介
- 作業風景…etc

～大豆収穫作業～

9月下旬から、大豆の収穫が開始されました。
今年には降雨が続き天候に恵まれないなかでの収穫作業となりましたが、収量については平年並と見込んでおります。

農協法公布記念日にあたって

平成27年11月19日



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で68年目を迎えました。

戦後の食料不足等の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。

農協は「農民による農民のための組織」として、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の実現をめざし、各種事業を展開しながら今日に至っています。

言いつまでもなく、農協法は農協の組織・事業を運営する基本法として極めて重要な役割を担っており、農協法公布記念日を契機に、改めて農協の原点に立ち返り、その意義と役割について共通認識を深めることが重要であります。

このような中、過般、農協改革法案の成立、TPP交渉の大筋合意という我が国の農業・JAに係る極めて大きな情勢変化があったといえます。

農協改革については、法改正と農業所得の向上の関係などに関して、いまだに納得のいく説明なり理解が進まない一方で、准組合員制度のあり方や監査の仕組みなどの重要案件について今後の検討課題となっており、改めて地域農業の振興や農協運営への影響がないよう、政府に対する働きかけを含め、関連する取組みを進めていく必要があります。

一方、TPP交渉については、交渉参加12か国の閣僚会合を経て、去る10月5日による大筋合意がなされた経過にあります。

交渉に関する情報開示が極めて不十分であり、国民的議論もいままに大筋合意という結果に至ったことに対して強い憤りを覚えるとともに、生産現場においては、今回の合意内容と国会決議との整合性をはじめ、これまでの交渉の取り進め方には到底納得がいかない状況にあります。

農業のみならず他の分野の合意内容についても全容が不明瞭であり、交渉を担ってきた政府・与党においては、国民との約束ともいえる国会決議と今回の合意内容との整合性や各分野の合意内容の全貌について説明責任を果たす必要があります。

我々JAグループ北海道としては、これらの状況を見極めつつ、今後の取組みを再構築した中で、農業経営をはじめ地域農業・地域社会の持続的発展に支障がないよう、関係方面への働きかけなど最大限の努力を傾注してまいります。

TPP交渉だけに限ったことではありませんが、国民との信頼関係がなければ国を形づくることは不可能であります。

とりわけ地方創生が叫ばれている中にあることは、各地域の声に十分に耳を傾け、真に国民に寄

り添った対応が国には求められているのではないのでしょうか。

かかる状況のもと、11月には3年に一度のJA北海道大会が開催され、【北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」】に関する決議がなされることとなります。

農業は、関係者それぞれの自助努力とともに、一般消費者・地域住民の理解と協力のもとに成り立つ産業であり、今回の決議事項にはその思いが込められております。

組合員・JA・連合会・中央会が各々の役割を再認識するとともに、JAグループ北海道がより一体となり総合力を十分発揮した中で、大会決議事項を着実に実践していくことが大会開催の真の目的であります。

前述のとおり、農業・JAを取り巻く環境は激動しており、生産現場では将来に対する不安が渦巻いております。

しかしながら、我々農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心のもと、この情勢変化の中から今後に向けた取組みを見出し、いくとも、農業・JAに対する幅広い理解と共感を得る不断の努力を行いながら、長年にわたり先人が築き上げた北海道農業並びに農業協同組合の基盤をさらに発展させ、後世にしっかりと継承するよう共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、北海道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日にあたってのご挨拶といたします。

順調にスタート

大豆施設稼働開始



栗山地区



由仁地区

大豆の施設では由仁地区で10月15日より受入を開始し、16日より「小粒ユキシズカ」から調製作業が開始されました。その後「小粒スズマル」「大粒トヨムスメ」を調製していきます。栗山地区で10月29日より種子大豆の調製作業が開始され、終了後、一般大豆の作業が進められます。

今年大豆収穫は悪天候が続く平年に比べ遅めの収穫開始となりましたが、品質につきましても、病害粒や汚粒の発生も少なく、収量についても平年並で全体的な品質は良好となっており、来年1月に調製完了の見込みとなっております。

管内の花で賑わう

由仁町文化祭

10月31日～11月1日の2日間、由仁町文化交流館ふれーるにて「由仁町文化祭」が開催され、そちら南花き生産組合マミーズブーケがフラワーアレンジメントを出展致しました。

出展された作品は、管内で栽培されたトルコキキョウやユリ、バラなどを使いマミーズブーケの皆さんがそれぞれ作製したもので、色とりどりの花が使われた作品は、文化祭会場を華やかに彩りました。



真剣な眼差しで

北大生インターンシップ



JAの概要説明を受ける

9月28日～10月2日、北海道大学農業経済学科の学生30名が2班に分かれ、それぞれ3日間のインターンシップ研修に訪れました。

初日にJA事業の概況説明や各施設の見学を実施、2日目以降は米穀・馬鈴しょ施設や資材・営農業務にそれぞれ分かれ、実際のJA業務を体験して行われました。

学生たちは、業務体験をしながらも「種芋移出量日本一になった理由はなぜか」「食農教育はどのような事を実施しているか」など様々な質問を職員に投げかけ、JA事業を理解しようと熱心に取り組まれました。

く大好評につきく

青年部農産物PR

大人気詰め放題



賑わう会場内



10月3日、JAそらち南産農産物と青年部活動のPRを目的に、札幌のホクレンシヨップ北49条店にて、来客者への新米配布（ななつぼし1kg）と、じゃがいも・玉ねぎの詰め放題を実施しました。

今年で3年目となる事業で、毎年ホクレンシヨップの場所を変えて実施しています。この日は天気にも恵まれ、300円で新米1kgと詰め放題ができるということで、開店前から多くのお客様が並び、午後にはあつという間に売り切れとなりました。

中にはメールやSNSでご近所の方に情報を発信してくれた方もいたり、そらち南の農産物を存分にPRすることができました。

く由仁・三川支部によるく

青年部屑米集荷

9月27日より青年部による屑米集荷事業が開始されています。毎週日曜日に実施されており、三川倉庫で受け入れを行っています。

集荷依頼のあった生産者宅へ行き、60kg袋に詰められた屑米をトラックへ積み込み、三川倉庫へ戻って検査を受けた後、部員の手によって倉庫へと搬入されていきます。青年部による屑米集荷は11月7日で終了となります。本年度については、米の品質が良く屑米が少ない傾向にあり、10月25日時点で約500俵の集荷となっております。



く力を合わせてく

青年部スポーツ大会

参加者全員で



ナイス アタック



10月25日、空知南部地区の8単組の青年部から150名ほどの参加者が集まり、交流と親睦を目的としたミニバレーボール大会が栗沢B&G海洋センターにて開催されました。

そらち南青年部チームは、JA女子職員の応援もあり2チームの参加となりました。残念ながら優勝は出来ませんでした。多くの青年部員・JA職員と交流することができた貴重な1日となりました。

終了後には岩見沢市サンプラザホテルにて懇親会が開催され、単組の垣根を越えて積極的な交流が行われ、大賑わいな1日になりました。

営農指導課のページ

土壌分析特集

毎年実施している「総合土壌分析」の取りまとめが始まっていますが、サンプルの提出はお済みでしょうか。11月27日が締め切りとなっておりますので、お忘れ無く。

土壌分析の結果は、一部の項目（硝酸態窒素）を除くと、3～4年は継続して使用可能なことから、JAでは毎年、一戸五点まで無料に対応することにしておりますので、計画的な提出をお願いします。

「分析結果の表をしっかりと見ましよう」

土壌分析は、土壌が持ついて作物が利用できる養分を

確認し、作付予定の作物が必要とする養分量がどれ位不足しているかを判断するためにあります。

収穫後の畑では、殆どの養分が

不足状態になっているのが普通ですが、必要以上に施された養分は土壌中に蓄積されます。

土壌中に多量に蓄積してしまうと、場合によっては濃度障害を起こすばかりでなく、無駄な経費を投入していることにもなるため、施肥管理の基本は、土壌中に必要以上の養分を貯め込まず、肥料を

土 壌 分 析 結 果 (mS/cm, mg/100g dry)					
分析項目	基準値	測定値	判 定	分析項目	
pH (H ₂ O)	6.0 ~ 6.5	5.9	やや低い	遊離酸化鉄	
EC	0.40 ~ 0.60	0.26	低い	易還元性マ	
培養窒素	-	-	-	交換性マン	
熱水窒素	-	6.0	-	ホウ素	
硝酸態窒素	5.0 ~ 10.0	8.8	適正	亜鉛	
アンモニア態窒素	-	-	-	銅	
リン酸	20.0 ~ 30.0	207.8	極めて多い	稲体ケイ酸	
カリ	15.0 ~ 30.0	50.7	やや高い		
苦土	25 ~ 40	54	高い		
石灰	180 ~ 350	555	高い		
ケイ酸	-	-	-		
腐植	-	3.0	含む		
リン酸吸収係数	-	992	中程度		
苦土・カリ比	2.0 ~ 7.0	2.5	適正		
石灰・苦土比	4.0 ~ 8.0	7.4	適正		
リン酸・苦土比	-	3.8	-		

効率的に使うことにあります。

右の表にある基準値は、予定する作物を栽培する土壌にはこれ位の養分があれば良いという数値

で、この範囲にある土壌であれば施肥は標準通りで良いという判断が出来ます。

判定欄は、測定値が基準値内に収まっているかを表現するものですから、高いとか低いという判定の場合は、何らかの手を打たなければなりません。

平成23年3月に皆さんに配布しました「施肥の適正化を目指すガイドブック」は、手の打ち方（施肥対応といえます）を決めるためのガイドです。

表の数値を例（ハウスでキュウリを栽培の予定）にガイドを適用してみますと、硝酸態窒素は適正値なので施肥標準通り、リン酸は基準値を大きく超えているので施肥量はゼロ、カリは基準値を超えているので施肥標準の半分、さらに苦土も基準値を超えているのでゼロで良いということになります。

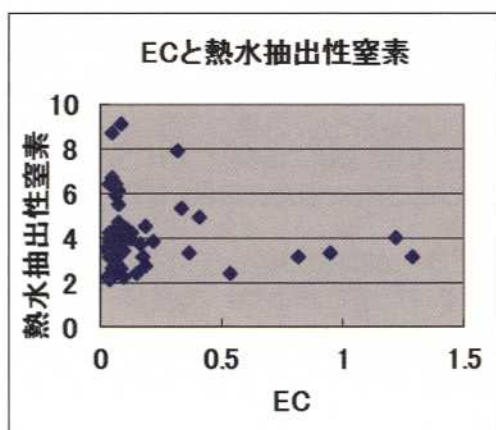
重要な肥料要素をゼロにするには、相当の勇気が必要とは思いますが、今すぐ出来る対応策はそれしか有りません。

少し極端な例になりましたが、土壌分析の結果は、このように活用することでその価値が発揮されますので、施肥の効率化に向けた積極的な活用に期待します。

「EC値の扱いは慎重に」

EC値は、土壌中の硝酸態窒素との相関が高いので、ハウス土壌の窒素量を推定するのに活用されています。

総合分析における畑土壌の窒素量は、熱水抽出性窒素で表示されます。畑土壌のEC値で熱水抽出性窒素を予測できるかを見てみると、EC値と熱水抽出性窒素には殆ど相関がありませんでした（左図）。



この図は、約90点のタマネギ畑の分析値を集計したものです。畑土壌の窒素診断でEC値を用いるのは問題がありそうです。やはり、総合分析が必要です。

（文責 技術アドバイザー 尾崎政春）

共 済 課



共済事務処理中



推進活動中

組合員の皆様の信頼と期待に応え 「安心」と「満足」をお届けします。

金融部共済課では本所1階金融店舗に窓口を展開しており、現在10名の専任スタッフにて業務にあたっております。

組合員の皆様の生活全般にわたるリスクに対して幅広く保障するよう努めております。万一のときや病気やケガ、老後などに備える「ひと」保障。火災はもちろん、地震や台風などの自然災害に備える「いえ」保障。北海道ではなくてはならない「くるま」の事故に備える保障。この「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通じて、それぞれの目的やライフプランに応じて充実した保障を提供し皆様の暮らしをバックアップしていきます。

保障内容のお問い合わせ、共済金の請求、万一の事故の場合の受付・初期対応等、組合員の皆様にわかりやすい手続きとなるよう努めてまいりますので、お気軽にお問合せ、ご相談を下さいますようお願い致します。

本所 金融部共済課 TEL 0123-72-1406 FAX 0123-72-1351

各地の作業風景など



中谷 光一さん宅（緑丘）
10月19日 ビート収穫



飯田 政美さん宅（本三川）
10月19日 大豆収穫



（株）雁平農場さん宅（熊本）
10月9日 搾乳作業



（株）きなうすつアームさん宅（杵臼）
10月27日 子実コーン収穫

我が家の愛取（アイドル）



片桐 壮佳くん（男の子）

平成27年8月24日生まれ

お父さん：片桐 義則さん
お母さん：めぐみさん

Q 1番可愛く感じるときは？

A 笑った時

Q どんな子に育って欲しい？

A 元気な子



水野 琥珀ちゃん（女の子）

平成27年8月25日生まれ

お父さん：水野 嘉貴さん
お母さん：梨沙さん

Q 1番可愛く感じるときは？

A 目があってニコニコ笑ってくれたとき

Q どんな子に育って欲しい？

A いつも笑顔で元気な子になってほしい



井澤 奏二くん（男の子）

平成27年8月29日生まれ

お父さん：井澤 智明さん
お母さん：紗裕理さん

Q 1番可愛く感じるときは？

A 指をにぎってくれるとき

Q どんな子に育って欲しい？

A たくましく育って欲しい



地区別懇談会のお知らせ

平成27年度農協地区別懇談会を11月24日(火)～27日(金)に実施致します。

各地区の日程等の詳細につきましては、後日FAXでご案内させていただきますので、ご確認の程お願い申し上げます。

組合員の皆様におかれましては、年末に向け何かとお忙しい時期とは存じますが、万障繰り合わせの上ご出席くださいますようお願い申し上げます。

平成27年度米穀受入状況

平成27年10月27日現在

品 種	出荷契約数量	共計契約数量	出荷実績	うち高品位	出荷率	高品位率
ゆめぴりか	92,432 俵	92,400 俵	85,944.5 俵	49,495.0 俵	93.0%	57.6%
きらら397	66,601 俵	66,500 俵	59,715.5 俵			
ななつぼし	53,591 俵	50,500 俵	40,936.0 俵	16,453.5 俵	81.1%	40.2%
きたくりん	12,121 俵	12,100 俵	5,707.5 俵	4,213.0 俵	47.2%	73.8%
おぼろづき	4,024 俵	3,500 俵	2,914.0 俵			
酒 米	1,106 俵	1,106 俵	1,426.5 俵	363.5 俵	129.0%	25.5%
ほしのゆめ	534 俵	200 俵	478.0 俵	385.0 俵	239.0%	80.5%
あやひめ	810 俵	260 俵	140.5 俵			
大地の星	2,162 俵	2,040 俵	0.0 俵			
その他	937 俵	360 俵	548.5 俵			
計	234,318 俵	228,966 俵	197,811.0 俵	70,910.0 俵	86.4%	52.7%

結婚に前向きだけど出会いがない・・・

素敵な出会いを探してみませんか？

～ＪＡそらち南 出会い・結び合い事業 『Let's 婚活』～

婚活 パーティー

そろそろ結婚したい・・・と思っても
出会いがない。

結婚を希望しながらも相手とめぐりあえていない
独身農業男性に、結婚のきっかけとなる出会いの
場を開催します。

参加女性は、農業をしているあなたとの出会いを
待っています。

素敵なお相手を見つけてみませんか？



♡内 容♡

- ☆日 程 平成28年1月16日(土)
- ☆会 場 ホテルエミシア札幌(旧シェラトン札幌) 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目
- ☆参加対象 結婚に前向きな独身の農業男性(25歳～45歳位まで)
- ☆定 員 男性15名(先着順となります)
- ☆応募締切 **平成27年11月20日(金)**
- ☆参加費 5,000円
- ☆行 程 ＪＡそらち南本所→ＪＡそらち南由仁支所→会場
(バスにて送迎いたします)
- ☆申込方法 ＪＡそらち南 営農部農業振興課までご連絡ください
TEL 72-1408



第10回理事会報告

日時 平成27年10月23日(金) 午後3時00分より
第10回理事会が開催され、原案通り承認されました。

【報告事項】

農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

- 議案第1号
マイナンバー関連諸規程の改正について
- 議案第2号
組合員に対する資金の貸付について
- 議案第3号
平成27年度営農賦課金の賦課及び徴収について
- 議案第4号
平成28年度営農計画書について
- 議案第5号
平成27年産大豆仮渡金支払いについて
- 議案第6号
資金の貸付について

行事予定

11月
19日
11回理事会(予定)

24日～27日
農協地区別懇談会



消防訓練

10月21日に本所にて、南空知消防組合にご指導いただき、避難訓練・消火訓練が行われました。

火災が発生した時に迅速な対応ができるよう、毎年実施しており、消火訓練では消火器の使用方法的説明を受け、実際に2名の職員が消火器を使用し消火の体験をしました。



組合員の動き

▽正組合員戸数 858戸
▽組合員数 1,555名
正組合員数 1,465名
うち法人 59名
准組合員数 690名
うち団体 63名
(9月30日現在)

★おくやみ申し上げます。
亡くなった方

氏名	年齢	住所
吉田 美登子	90歳	栗山町北学田
井端 文代	84歳	由仁町岩内
田中 てる子	88歳	由仁町中三川
村上 政敏	77歳	由仁町西三川

編集後記

寒い季節となりました。外に出るのが大好きだった娘も、玄関に出ると「寒い」と言って固まるようになってしまいました(笑)そんな日々を送っているうちに、初雪が降りましたね。例年よりも1週間ほど早かったようです。そろそろ冬タイヤに変えようかと悩む今日この頃ですが、皆さんはもうタイヤ交換お済みですか?夜は道路が凍る事もありますので、事故等には十分に気を付けましょう。

管理部 小林 宏美

ラグビーワールドカップで日本代表が世界的に注目を浴びました。選手たちは「世界一厳しい」と言われる練習をしてきたそうで、予選敗退とはなりませんが見事な成績を残しました。

管内の収穫作業も終盤を迎えたところですが、今年はこの作物も出来が良いようです。ラグビー日本代表と同じく、日頃の努力が実を結ぶ1年になるのではないのでしょうか。

管理部 高橋 慎治



そらち南 くみあいだより

2015 11月号 Vol. 82

■発行 2015. 11. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷